



## Pathways to 2045/55 : ビジョン実現のための道のりの探索

### (科学技術予測調査シナリオワークショップ)

【ワークショップ概要】ありたい社会像へ至る現在からの道のりについて、多様な学問領域・異なるセクターの参加者とともに、専門的・実務的知見を基にしながら創造的手法も活用し探索する。

【背景・目的】価値観の断絶、経済格差拡大、少子高齢化、激甚災害の頻発等、未来への不安が大きくなっている中で、持続可能性、SDGs、Society 5.0の次の社会実現に向けた建設的な議論を行う。

【参加者】47名（会社員、公務員、研究者等）

## キックオフ

【開催日時】2024年11月26日（火） 12:30～16:30

【開催場所】3×3Lab Future

【プログラム概要】チームビルディング、テーマ導入を実施。知識創造活動における共同化プロセスが進められた。参加者は、以下のような気づきを得ていた。

- 様々な分野の人の間でも共通点が多かった
- 多様な意見が出ながらも共感する意見も多いと感じた
- 驚くほど共通した世界観があった
- 自分の考えを共感してもらえることがシンプルに嬉しいことを実感した
- 立場が違っても同じものでも見え方が違うことが感じられて楽しかった
- 同じ観点でも具体的な体験や事例が異なっていた
- 自分が当たり前と思っていた知識が必ずしも一般的ではなかった
- 一人ひとりの発言の背景にあるものに想いを馳せると面白い



## シナリオ作成・分析

【開催日時】2024年12月～2025年1月

【開催場所】オンライン

【プログラム概要】パスウェイ探索、移行問題特定を実施（3回×4グループ）。知識創造活動における表出化・連結化プロセスが進められた。参加者は、以下のような気づきを得ていた。

- 自分の思考の特徴や強味の言語化が進んだ
- 自分の中で漠然としていた思いを他の人が言語化してくれることで整理できた
- シンプルな言葉で表現すると本質に近づける
- 想定しえないことを未来感を出して語るには相当突飛な表現が必要
- シナリオどうしを横並びで比較してみるとバラバラに見ているだけでは気づかない矛盾や改善点が見えてくる
- シナリオの比較やキーワードに沿った差別化によって見通しがかなりよくなった
- 長いプロセスを経て伏線回収ができたようで嬉しかった

## バックキャスト

【開催日時】2025年2月28日（金） 12:00～16:00

【開催場所】3×3Lab Future

【プログラム概要】アクション検討、深堀問題特定を実施。知識創造活動における内面化プロセスが進められた。参加者は、問題を解決するためのアクションとして、「各ステークホルダーが何をすべきか」について検討するなかで、おのずと「自分が何をすべきか」についても思いを巡らせていた。



## アンケートにおける主な意見（総合知に関して）

- こういう知識 [総合知] の説明にも時間をかけてもらった方が、モチベーションアップに良いと思います。
- 本当にバイアスのない総合知を得るため意見整合の場や、各意見の出所や意図をどのように表現して政策に盛り込んでいかれようとしているのか、まだまだ理解が進んでいない部分があり、今後のまとめ方に期待しています。
- 企業という小さな世界の中で、総合知を活用していくにはどうすればよいか、身近な場面で総合知を活用するためにどうしていけばよいか、知りたい。
- 総合知は人文・社会科学知と科学技術知の単純な統合では無く、人類の課題解決のための実践知あるいは融合知としての側面が強いように感じているが、そのあたりが不明確に思う。
- 総合知の普及が進むと嬉しいです。文明だけで課題解決するのは限界があるので、文化軸の重要性を認識していただけるとありがたいです。
- Social Impact, Social Engagementとの違い [について知りたい] 。
- 今後もこの概念 [総合知] について、勉強・フォローできる機会があればと思う。
- 日本は子どもの頃から文系理系と分け過ぎている印象。世の中は全て総合知で動いているので、リベラルアーツをもっと普及させて、専門家以外でもいろいろな社会課題に関心を持って自分自身でチャレンジできる土壌を作っていけると良いのでは。今後の「総合知」に関する国の取組（大学への支援、産官学連携、普及啓発）に期待しています。